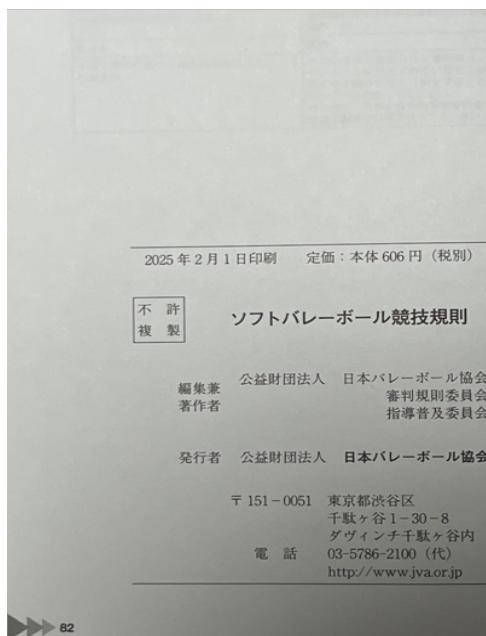


2025(令和7)年度 ルールブック & ケースブック



目次	
競技の特性	16
第1章 施設と用具	17
1 競技エリア (第1図)	17
1.1 競技エリア	1.2 コート
1.3 サービスゾーン	1.4 チームベンチ
1.5 記録席	
2 ネットおよび支柱	18
3 ボール	19
第2章 チーム	19
4 チームの構成	19
5 試合への出場	20
6 競技参加者の権利と義務	20
6.1 基本的な権利と義務	6.2 監督の権利と義務
6.3 チームキャプテンの権利と義務	6.4 選手の服装
第3章 試合の準備と進行	22
7 トス	22
8 公式ウォームアップ	22
9 ラインアップシート	23
10 選手の位置とローテーション	23
10.1 位置	10.2 ローテーション
11 競技の中断	25
11.1 タイムアウト	11.2 選手交代
11.3 要求の方法	11.4 不当な要求
11.5 特殊な事情による試合の中断	
12 コートの交替 (コートチェンジ)	27

第4章 得点、セットおよび試合の勝者	28
13 試合の勝者	28
14 セットの勝者	28
15 得点の方法	28
16 セット (試合) の没収	29
第5章 プレー上の動作と反則	29
17 サービス	29
17.1 サービスとは	17.2 セットの最初のサービス
17.3 サービス順	17.4 サービスの実行
18 ボールへの接触	31
19 アタックヒット	31
20 ブロック	32
21 ボールインとボールアウト	33
22 プレー上の反則	34
22.1 ベネレーションフォルト	22.2 サービス順の誤り
22.3 アウトオブポジション	22.4 サービスの反則
22.5 アタックヒットの反則	22.6 ブロックの反則
22.7 オーバータイムス	22.8 ホールディング
22.9 ドリブル	22.10 タッチネット
22.11 オーバーネット	22.12 ボールアウト
22.13 ダブルファウル	22.14 インターフェア
第6章 不法な行為とその罰則	36
23 罰則につながる不法な行為	36
24 罰則の段階と罰則カード	37
第7章 審判員とその責務および公式ハンドシグナル	39
25 審判団	39
26 主審	39
26.1 権限	26.2 責務

27 副審	40
27.1 権限	27.2 責務
28 記録員	41
29 線審	42
30 点示員	42
31 主審と副審の公式ハンドシグナル (第10図)	42
31.1 主審と副審のハンドシグナル	
31.2 主審が吹笛した場合のハンドシグナル	
31.3 副審が吹笛した場合のハンドシグナル	
32 線審のフラッグシグナル (第11図)	43
ソフトバレーボール小学生競技規則	53
付録1 公式記録記入法	59
付録2 プロトコール	63
付録3 ケースブック	65
●公式記録記入例	巻末

競技規則問題

令和7年 審判員研修会・新規資格取得講習会
競技規則問題

所属 _____
氏名 _____

問題(1) 次の()に入る数字を答えなさい。

- 競技場の表面から最低限 ()mの高さとフリーゾーンにはネット、支柱、審判台を除き、一切の障害物があってはならない。
- ボールはゴム製で、重さ()g、円周()cm、円周()cmの公益財団法人日本バレーボール協会検定のソフトバレーボールを使用する。
- プロトコールのトスは第1セットの主審のサービス許可の吹笛の()分前に開始する。
- 公式ウォームアップはそれぞれ ()分間、1セットに最大 ()回まで要求することができる。
- 2セット目のコート内へ導く吹笛は、前のセット終了の()分()秒後に副審が行う。
- タイムアウトは1回につき ()秒間で、1セットに最大 ()回まで要求することができる。
- コートは()m×()mの広さを持つ長方形である。
- サービスゾーンは、それぞれのエンドライン後方に位置する幅()mのゾーンで、サイドラインの延長上エンドラインの()cm後方に()cmの長さで引く2本の短いラインにより両端を区画する。

①() ②() ③() ④()
⑤() ⑥() ⑦() ⑧()
⑨() ⑩() ⑪() ⑫()
⑬() ⑭() ⑮() ⑯()

問題(2) 次のプレー中の動作はどのような反則になるか、該当する反則名を口の中から選んで記入しなさい。

- 床に落ちそうなネット際のボールをレシーブしたら、肘が相手コートの床に接触した。
反則名()
- 第2回目打球をレシーブしようとしたら、一つの動作中に身体2箇所以上がネットに接触した。
反則名()

③ インプレー中に背中が安柱のネットの幅の部分に接触した。
反則名()

④ サービスしたボールがフリーゾーンの区画線を超えた。
反則名()

⑤ レシーブしたボールがフリーゾーンの区画線を超えた。
反則名()

⑥ 相手から打たれたサービスを背の高い選手がネットより完全に高い位置でレシーブしたら誰にも触れずにそのまま相手コートにボールが入った。
反則名()

⑦ 移動式支柱の土台(おもりの部分)に足をかけてボールをレシーブした。
反則名()

⑧ サイドラインの延長線上のラインの外側を踏み切ってサービスをした。
反則名()

⑨ 両チームの選手がネット上で同時に触れたボールがアンテナに接触した。
反則名()

⑩ ボールをレシーブした後、隣接するコートに侵入してしまった。
反則名()

⑪ スライクした手が、ボールが床に接触する前にアンテナに接触した。
反則名()

⑫ サービスした瞬間に、相手選手の足がサイドラインより外側に位置していた。
反則名()

⑬ サービスした瞬間に、レシーブ側のフロントラインの選手の足がフロントラインの選手の両足より左側に位置していた。
反則名()

⑭ スライクを打った体がネットに接触し、そうになったので、ボールが床に接触する前にネットの下を通り抜けて相手コートにフリーゾーンに侵入した。
反則名()

フットフォルト	サービス順の誤り	アウトオブポジション	インターフェア
サービスの反則	アタックヒットの反則	ブロックの反則	ダブル
オーバータイムス	ホールディング	ベネレーションフォルト	
ボールアウト	ダブルファウル	パッシングザセンターライン	
タッチネット	オーバーネット		

問題(3) 次の権利と義務のうち、チームキャプテン及び監督の両方の権利と義務には○を、どちらか片方のみの権利と義務には×を記入しなさい。

① プロトコールのトス	⑤ チームのポジションの確認
()	()
② 試合開始前の記録用紙への署名	⑥ 競技規則適用の解釈についての質問
()	()
③ 選手交代の要求	⑦ チームの規律についての責任
()	()
④ タイムアウトの要求	⑧ 試合終了時の記録用紙への署名
()	()